

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	・傷病者を救急車内に収容しようとした際にストレッチャーが下がった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	・傷病者を車内収容しようとしたところ、積雪(約5cm)でタイヤが動かない状態であるのを、ストレッチャーがストレッチャー台に乗っていると勘違いし、隊員がストレッチャーレバーを操作したもの。 結果、頭部側ストレッチャーの脚が折りたたみストレッチャーが下方に降りて救急車のステップ上で止まったものの、傷病者を転落させそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	・車内収容時は必ず2名以上で実施しているが、お互いの声かけ不足。 ・ストレッチャーが確実にステップ台に乗っているかの確認不足。 ・雪という環境下での危険予知不足。

### 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

### 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成26年2月9日 午前7時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：路上で雪が積もっていた。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[42]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[21]年、階級[消防司令] 同様の活動[初めて]、任務[複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[34]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[13]年、階級[消防士長] 同様の活動[初めて]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[1]年、階級[消防副士長] 同様の活動[初めて]、任務[機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	救急車内で、病院連絡実施中	
経過2	当事者B	当事者Cと協力し、傷病者をストレッチャーに乗せ、車内収容したところ	
経過3	当事者C	当事者Bと協力し、傷病者をストレッチャーに乗せ、車内収容しようとしたところ	
経過4	当事者C	積雪でタイヤが動かない状態であるのを、ストレッチャーが台に乗っていると勘違いし	
経過5	当事者C	ストレッチャーレバーを操作したため頭部側の脚が折りたたみ、転落させそうになった	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

図1

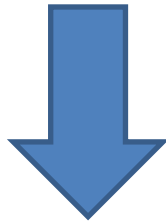
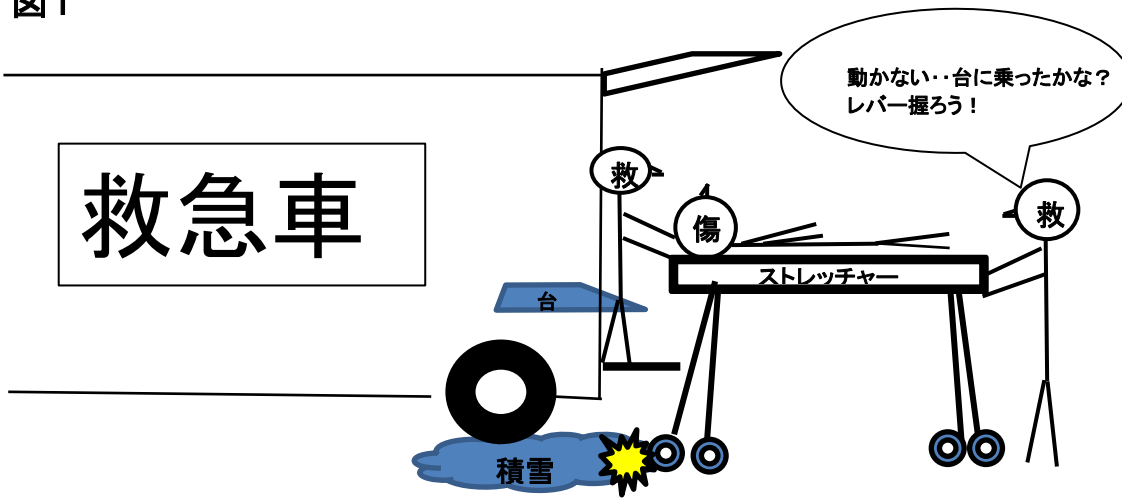


図2

